



☆ 優秀作品表彰：一般県道東灘芦屋線

東灘芦屋大橋
神戸市建設局

阪神・淡路大震災により阪神地域の東西交通や深江浜、芦屋浜といった埋立地への連絡路が遮断され、都市機能に大きな打撃を受けるとともに、埋立地は孤立し、市民は、苦難の生活が強いられた。

一般県道東灘芦屋線東灘芦屋大橋は、この震災の教訓から埋立地に複数のアクセス道路を設け、緊急時、埋立地の孤立を防止するとともに、緊急活動に対応するべく神戸市深江浜と芦屋浜埋立地間の連絡確保・強化のために計画した連絡橋である。本橋梁は、埋立地間の連絡を強化し、多核ネットワーク型都市圏の防災機能向上に寄与するものである。

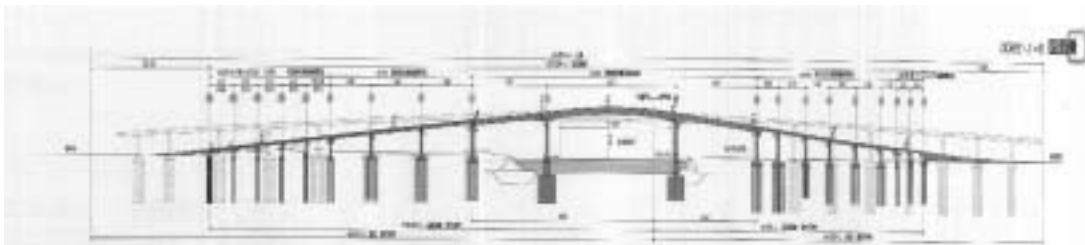
平成6年度から震災復興関連事業として兵庫県と神戸市が事業主体となって建設に取り組んできた。本橋梁は、既設の阪神高速湾岸線に隣接して建設されるため、風により複雑な空力特性を示すことが予測され、風洞実験で空力弾性的挙動を検証し、制振対策を講じるとともに、基礎工につい

ては、TC (Technical Cooperator) 制度を活用し、基礎工の選定及び施工計画を策定し、近接施工に対しリアルタイムで計測を行い情報化施工に努め、平成16年12月に完成する運びとなった。

地元住民も本橋梁の完成を待ち望んでおり、完成式には、大日靈女神社奉賛会によって祝いの「深江伊勢音頭」「深江だんじりばやし」が奉納された。

震災10年を迎える神戸にとって、本橋梁の完成は更なる飛躍の契機となるものである。

事業区間	起点 神戸市東灘区深江浜町 終点 芦屋市陽光町
道路区分	第4種2級
設計速度	40km/h・50km/h
全長	1,283.4m(兵庫県760.0m・神戸市523.4m)
橋長	965.3m(兵庫県599.9m・神戸市365.4m)
幅員	全幅12.5m (車道3.25m@2車線・自歩道3.5m)
事業期間	平成6年度～平成16年度
事業費	172億円(兵庫県94億円・神戸市78億円)



東灘芦屋大橋 側面図



東灘芦屋大橋 平面図